

認知症について知りたい!



認知症とは、いろいろな原因で脳の細胞が死んでしまったりして、脳の司令塔の働きに不都合が生じ、さまざまな障害が起こり、生活する上で支障が、およそ6ヶ月以上継続している状態を指します。

認知症の進行と主な症状・状態と対応の変化について

症状や状態	軽度認知障害 (MCI)	初期	中期	後期	
認知症の疑いがある		認知症を有するが、日常生活を送ることができる	誰かの見守りがあれば日常生活を送ることができる	日常生活に手助けや介護が必要	常に介護が必要
本人の様子	<ul style="list-style-type: none"> ●もの忘れが多いが日常生活を送ることができる <p>～MCIとは～ 認知症ではないけれど以前に比べ認知機能が低下している状態</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●買い物や金銭管理等にミスがみられているが、日常生活を送ることができる ●新しいことがなかなか覚えられない ●料理の準備や手順を考えることが難しくなる ●趣味や興味があったことに対して関心がなくなっていく ●不安が強くなる 	<ul style="list-style-type: none"> ●道に迷うことが多くなる ●薬の飲み忘れや、電話での対応、訪問者の対応が一人では難しくなる ●着替えやトイレが上手くいかなくなる ●時間や場所が分からなくなる ●日常生活でいろいろなことが1人でできなくなる ●使い慣れた道具の使い方が分からなくなる 	<ul style="list-style-type: none"> ●日常生活で全面的な介助やケアが必要になる ●排泄の失敗が増える ●寝たきりになり、会話が成立しなくなる ●家族の顔や名前が分からなくなる 	
介護者の気持ち	<p>同じことばかり聞かれるとイライラする</p> <p>今後どうなっていくか不安</p>	<p>もしかしたら認知症かも</p> <p>どこに相談したらよいだろう</p>	<p>消費者被害に遭わないか心配</p> <p>道に迷ったらどうしよう</p> <p>病気だとわかっていても怒ってしまう</p> <p>介護サービスの利用の仕方が分からない</p>	<p>介護に疲れた本人から離れて少し休みたい</p> <p>施設などに相談した方がよいのかな</p> <p>看取りのことが不安</p>	
接し方と対応	<ul style="list-style-type: none"> ◆本人の「想い」を大切に、「その人らしく」生活できるように配慮しましょう ◆家庭内の役割を持ち、継続できるようにしましょう ◆趣味や地域活動を続けましょう ◆適度な運動とバランスの良い食事を心がけましょう ◆必要に応じ職場に相談しましょう ◆利用できる制度について調べましょう 	<ul style="list-style-type: none"> ◆失敗やできなくなったことを「大丈夫だよ」と受け入れましょう ◆できるようにする工夫を考えましょう ◆家族間で今後の介護について話し合しましょう(協力体制をつくる) ◆適切な医療機関を受診しましょう ◆介護保険について学ぶ機会をもちましょう ◆親しい方には認知症であることを伝えておき、理解者・協力者をつくりましょう ◆道に迷うことに備えて、身元が分かるようにしましょう⇒P7「おでかけ見守りシール」 ◆ひだまりカフェやひだまりのつどいなどで情報収集をしましょう 	<ul style="list-style-type: none"> ◆できるだけ早い段階で、※人生会議 (ACP: アドバンス・ケア・プランニング) に取り組みましょう ◆介護する家族自身の健康管理に気を付けましょう ◆日常生活(食事・排泄・清潔を保つなど)でできないことが増え、合併症をおこしやすくなることを理解しましょう ◆安全な生活が送れるよう環境を整えましょう ◆必要な医療の提供・急変時に対応できるようにしましょう ◆介護サービスなどを活用して、家族の負担を減らしましょう ◆将来に備えて、成年後見制度等の利用を検討しましょう ◆施設への入所についても検討しましょう <p>※ 人生会議 (ACP: アドバンス・ケア・プランニング) とは・・・ もしもの時のために、あなたが望む医療やケアについて前もって考え、家族や医療ケアチームと繰り返し話し合い、共有する取り組みのこと</p>		

